

醜髮集

熊野

一 平安の世を慕ひつつ梳る

髪はやうやく腰まで届けり

*梳る＝くしけずる

二 黒髪に雪降り初めしが懲りもせず

伸ばしたき想ひさらに変わらず

三 不思議やな 若き時より艶多し

椿油の効果に驚く

四 熱風を当てつつ乾かす吾が髪の

傷まぬやうにとゆるく施すも

五 美しき髪になるやう まじないを

かける如くに髪梳る

*梳る＝くしけずる

六 若き日に比べると細く腰のなき

今の髪ではいくばくぞ伸ぶ

七 「切れば」とふ 他人事のやうに忠告す

吾が決意を踏みにじる一言

*他人事||ひとごと

八 洗ひ髪 生乾きなれど平氣にて

伏せるわが背に座りたる猫